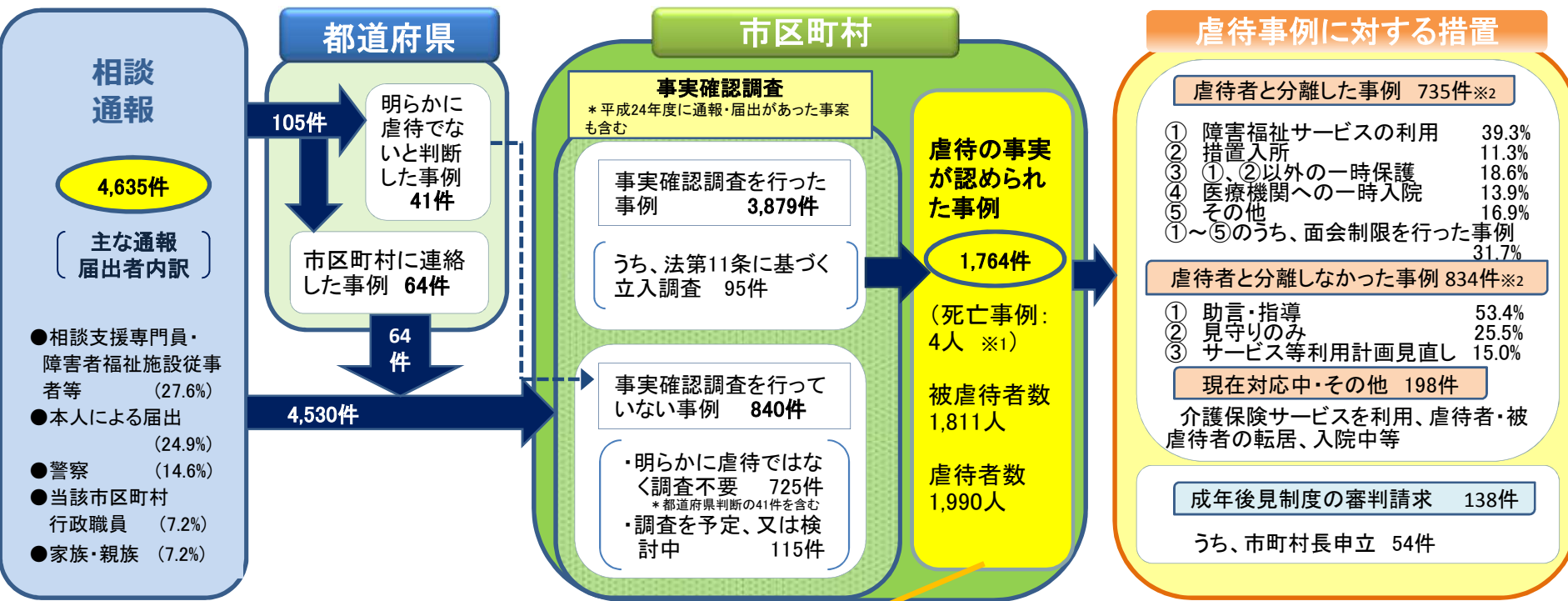


平成25年度 障害者虐待対応状況調査<養護者による障害者虐待>



- ### 相談通報
- 4,635件
- 〔主な通報届出者内訳〕
- 相談支援専門員・障害者福祉施設従事者等 (27.6%)
 - 本人による届出 (24.9%)
 - 警察 (14.6%)
 - 当該市区町村行政職員 (7.2%)
 - 家族・親族 (7.2%)

都道府県

105件

明らかに虐待でない
と判断した事例 41件

市区町村に連絡した事例 64件

64件

4,530件

市区町村

事実確認調査

*平成24年度に通報・届出があった事案も含む

事実確認調査を行った事例 3,879件

うち、法第11条に基づく立入調査 95件

事実確認調査を行っていない事例 840件

- ・明らかに虐待ではなく調査不要 725件
*都道府県判断の41件を含む
- ・調査を予定、又は検討中 115件

虐待の事実が認められた事例

1,764件

(死亡事例: 4人 ※1)

被虐待者数 1,811人

虐待者数 1,990人

虐待事例に対する措置

虐待者と分離した事例 735件※2

- ① 障害福祉サービスの利用 39.3%
- ② 措置入所 11.3%
- ③ ①、②以外の一時保護 18.6%
- ④ 医療機関への一時入院 13.9%
- ⑤ その他 16.9%

①～⑤のうち、面会制限を行った事例 31.7%

虐待者と分離しなかった事例 834件※2

- ① 助言・指導 53.4%
- ② 見守りのみ 25.5%
- ③ サービス等利用計画見直し 15.0%

現在対応中・その他 198件

介護保険サービスを利用、虐待者・被虐待者の転居、入院中等

成年後見制度の審判請求 138件

うち、市町村長申立 54件

虐待者(1,990人)

- 性別
男性(65.6%)、女性(34.1%)
- 年齢
60歳以上(32.9%)、50～59歳(22.6%)
40～49歳(19.9%)
- 続柄
父(20.6%)、兄弟姉妹(19.7%)
母(18.6%)

虐待の種別・類型(複数回答)

身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	放棄、放置	経済的虐待
63.3%	5.6%	31.6%	18.9%	25.5%

被虐待者(1,811人)

- 性別 男性(37.1%)、女性(62.9%)
 - 年齢
50～59歳(20.9%)、40～49歳(19.5%)
20～29歳(19.4%)
 - 障害種別
- | 身体障害 | 知的障害 | 精神障害 | 発達障害 | その他 |
|-------|-------|-------|------|------|
| 25.8% | 50.6% | 36.0% | 1.7% | 2.0% |
- 障害程度区分認定済み (51.7%)
 - 行動障害がある者 (25.1%)
 - 虐待者と同居 (79.8%)
 - 世帯構成
両親と兄弟姉妹(13.5%)、単身(10.8%)、
配偶者(10.0%)

※1 うち2件は、心中事件により発覚した事例のため、1,764件には含まれていない。
 ※2 虐待者との分離については、被虐待者が複数で異なる対応(分離と非分離)を行った事例が含まれるため、虐待事例に対する措置の合計件数は、虐待が認められた事例1,764件と一致しない。